



倉敷支部 & 吉備高原支部 合同例会のご案内

オブザーバー歓迎!

岡山県中小企業家同友会
倉敷支部長 大西一夫
吉備高原支部長 山辺啓三

「人が生きる経営を愚直に実践して」

～企業経営と同友会運動は不離一体～

【報告者】三宅産業株式会社 取締役会長 三宅 昭二氏

(香川同友会常任相談役・中同協顧問)

会社概要 創業：明治元年 設立：昭和31年 社員数：79人 年商：28億円
事業内容：管工事・電気工事・水道施設工事・消防施設工事・土木工事・建築工事・機械器具設置工事
浄化槽工事・液化石油ガス設備工事・宅地建物取引業・フロン回収破壊業

三宅氏は1934年生まれ。家業の石炭業を継いだ後、時代の変化に対応して多角経営を進め、年商30億円の企業にまで成長させました。

しかしその歩みは決して平坦なものではありませんでした。

企業として成熟期を迎えた頃に、突然、労働組合が結成され、苦境に立たされます。その時、既に入会していた同友会に勧められたのが『労使見解』でした。以来、社員を最も信頼できるパートナーとして位置付け、就業規則の見直しや経営指針書の作成など、同友会で学びつつ、人間尊重の経営を実践し改革を進めてこられました。

82年には香川同友会の代表に就任。実は、前任・前々任の代表二人の会社は倒産しています。同友会の看板とも言える代表たちが倒産したことで、三宅氏はあらためて同友会理念に基づき倒産しない強靱な企業づくりをしていかなければならないと心に誓われたそうです。

代表理事として会員増強にも力を発揮し、一時は毎年200人以上の増強数を維持。今でも「同友会は運動体として会の内外に向かう働きかけを強めなければなりません。新会員を増やさなければ、年間10数%は確実に減っていくことを体験しました。同友会がある限り、会員増強は続けていくべき柱となる運動であると確信しています」と強調されます。

「会員企業が発展し、増えていくことによって地域が良くなり、国が良くなることに確信を持っていきたいと思ます」と語る三宅氏に、同友会運動の真髓をご報告いただきます。

と き： 9月19日(水) 17:30～

【第1部 例会】17:30～21:00 【第2部 懇親会】21:10～22:30

ところ：瀬戸大橋温泉やま幸(岡山県倉敷市下庄140-1 Tel.086-462-1126)

参加費：4,000円(懇親会費含む) ※例会のみ参加は1,000円(オブザーバーは例会無料)
※9/13以降のキャンセルは全額ご負担いただきます。

※ご宿泊も可能です(お風呂&朝食&朝風呂つき5,000円)。先着順ですので、ご希望の方はお早めに直接やま幸さんにお申込みください。

※お迎えバス：16:30 倉敷駅みずほ銀行前発→17:00 中庄駅北口発→17:20 会場着

----- 切り取らずにそのまま FAX してください -----

倉敷 & 吉備高原 合同例会出欠票 FAX086-225-3662

例会：出席します 欠席します

懇親会：出席します 欠席します

会社名() 氏名()

オブザーバーをお誘いください。

会社名() 氏名() 役職()